

# 会 議 録

会 議 名	平成28年度 第5回 丸亀市自治推進委員会
開催日時	平成29年3月23日(木) 午後6:30～午後8:05
開催場所	丸亀市役所 本館2階 第3会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p>麻谷 恵佑、天野 裕子、荒木 雅夫、石本 千紘、鹿子嶋 仁、 久保田 英俊、佐藤 隆繁、土山 博剛、西谷 清美</p> <p>(欠席委員)</p> <p>香川 脩、高木 明美、長尾 隼人、山内 一輝、山下 功太郎 (敬称略・五十音順)</p> <p>(事務局)</p> <p>市長公室長 山田 理恵子 (市民活動推進課) 課長 小山 隆史、主任 鳥井 隆志 (政策課) 課長 山地 幸夫、副課長 富士川 貴、担当長 志村 芳隆、 主任 宇野 大志郎</p>
議 題	<p>(1) 丸亀市協働実行計画の進行管理について</p> <p>(2) パブリック・コメント及び公募委員募集に関する運用の改善について</p>
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地課長	<p>ただいまより、自治推進委員会を開催いたします。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>ここからの議事進行につきましては、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定により、鹿子嶋会長にお願いします。</p>
鹿子嶋会長	<p>議事に入ります前に、本日は14名の委員中9名の出席でありますので、丸亀市附属機関設置条例別表の規定により、会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>本日の議事は、(1)「丸亀市協働実行計画の進行管理について」、(2)「パブリック・コメント及び公募委員募集に関する運用の改善」でございます。</p> <p>最初に、(1)丸亀市協働実行計画の進行管理についてですが、協働実行計画は、平成26年4月に計画を策定し、毎年度、見直しを行っているところです。昨年も3月に進行状況の報告がありましたが、その後の状況について、事務局より説明をお願いします。</p>
鳥井	(資料「丸亀市協働実行計画の進行管理について」の説明)
小山課長	(資料「コミュニティ活動と人材育成について」の説明)

鹿子嶋会長	ただ今の説明に対し、ご意見等ありましたらお願いします。
佐藤委員	資料では、協働実行計画分野別事業が一覧になっていますが、それぞれの事業に対する補助等がありますか。また、こちらの事業を市民に周知していますか。
鳥井	こちらの事業一覧は、補助等の有無とは関係なく、市民やNPOなどと協働している事業をまとめたものです。周知については、市のホームページに計画本体は載せており、こちらの事業一覧も、その別紙資料ということで掲載しています。
佐藤委員	このような事業が今後増えていくことも大事ですし、市民がそのことを知っていることも大事だと思います。
小山課長	一般に協働とはどういうものか分かりにくいところがありますが、こちらは具体的な内容が分かりやすいように、事業の相手方や事業概要をまとめたものです。まずは、協働というものを知ってもらって、それを参考に新しい事業が増えていくことを期待しています。
鹿子嶋会長	せっかくの事業一覧なので、市民にも見えた方がいいと思います。他の団体も参考にして、活動の促進にもつながります。
天野委員	協働事業一覧を見ますと、我々が知らないものも協働であることに気づきます。市民も知らないことが多いです。それから、先ほどの説明の中で、「まちづくりに関わるすべての主体」という表現がありますが、「主体」とは具体的に何を指すのか分かりにくいと感じました。
小山課長	「主体」という表現は、団体等のことですが、一般の人には分かりにくいかもしれません。こちらの表現については少し検討してみます。
天野委員	別の会合で、本市の自治会加入率が県内でも最低という話を聞きましたが、どのような現状ですか。
小山課長	自治会加入率は確かに県内でも悪い状況で、加入率が毎年少しずつ減少しています。
荒木委員	自治会に加入しても、煩わしさや寄付などのデメリットが多いです。自治会加入をごみ収集の条件とすれば、加入率も高くなりますが、現状の自治会加入を取り巻く環境を考えれば加入率を維持していくのが精一杯だと思います。
小山課長	コミュニティ会長等によるプロジェクト会議でも、そのことについて検討されています。自治会加入施策については、行政ではできないところもあり、コミュニティでできることとの使い分けも必要であると感じています。

久保田委員	<p>新規に自治会に入ろうと思っても、加入料が数十万円と高い場合や、短期でアパート暮らしをしている場合は加入しないと思います。不動産を購入するときに、自治会加入を条件にするなどの方策が必要です。それから、私は協働実行計画そのものを知らなかったもので、やはり事業等の見える化は必要だと思います。</p>
天野委員	<p>市役所内でも職員が協働について理解できていないこともあり、周知徹底が必要です。</p>
鹿子嶋会長	<p>自治会加入に関する取組は、行政としては打ち出しにくいですが、民間では動ける要素があると思われます。</p>
荒木委員	<p>業者の中には、家を建てるときに、自治会に加入するよう勧めているところもあります。それから、協働の分野別事業一覧では、市民の方が事業内容に興味を持てば、団体等に問い合わせをする方もいると思います。</p>
鳥井	<p>委員のご意見をお聞きしますと、協働事業の周知の部分で、現状では足りていないと感じています。周知の方法として、SNS等の手段も考えられますので検討してまいります。また、自治会加入については、コミュニティや連合自治会の会長とも、プロジェクト会議等の中で一緒に検討したいと考えています。</p>
西谷委員	<p>資料の「コミュニティ・自治会にかかる提言書」の中で、子どもを取り巻く環境として、教育力の低下などが示されていますが、これは実際にそういう問題があるのですか。</p>
小山課長	<p>この提言書の内容については、コミュニティ会長等が話し合う中で、意見として出てきたものをまとめたものであり、こういう問題もあり得るという捉え方をしてもらえればと思います。</p>
天野委員	<p>この提言書でも、自治会加入とゴミステーションについて書かれているが、アパート等の賃貸住宅では、専用の業者がごみを回収に来ていて、自治会とごみの問題が関係ない世帯が増えています。</p>
佐藤委員	<p>新年度から、コミュニティに生涯学習推進員を設置する予定で、コミュニティセンターでは新たな事務が増えますが、委託料や補助金等は増やすのですか。</p>
小山課長	<p>コミュニティの運営補助金の積算を月3万円増やす予定です。コミュニティセンターは、元は公民館として社会教育の機能が備わっていましたが、現在はコミュニティ活動や地域活動が主になっていますので、社会教育の再構築を進めたいと考えています。推進員としては、センターの所長や地域住民の方を想定しています。</p>

西谷委員	地域に社会教育を取り戻すという、いい方向であると感じます。そういう意味でも、推進員として誰でもいいというのではなく、社会教育主事等の方がなって、そのような方がプログラムを組むということも考えてはどうかと思います。
小山課長	もちろんそのような方がいれば最良ですが、まずは地域の中で人を特定してもらって、連絡会等を通じて養成し、核となる人材として育ててもらいたいと思います。少しでも理想に近づけていきたいと考えています。
久保田委員	生涯学習推進員や地域コーディネーターのどちらについても、人を育てていくということで大事な事業であると思います。
西谷委員	資料の「コミュニティと自治会にかかる提言書」では、学校とコミュニティの連携強化が示されているが、小中学校だけでなく、高校も対象になるのですか。
小山課長	直接の対象としては、小中学校を考えていますが、地区によっては高校も対象になることも考えられます。実際に飯山高校ではコミュニティと連携して事業をしています。そういう連携が生まれることも期待したいです。
鹿子嶋会長	他にご意見はありませんか。 なお、この協働実行計画の修正は、本日の意見も踏まえて手直しをすることになると思いますが、この確認はどういたしましょうか。
小山課長	これについては、事務局で修正した内容を会長にご確認いただき、その上で公表したいと考えています。
鹿子嶋会長	私の方で確認をとということですが、よろしいでしょうか。 先ほども、「主体」という表現についての意見もありましたが、事務局で修正の検討をしていただいて、私の方で確認するという方法で進めさせていただきます。 続いて、議事（２）パブリック・コメント及び公募委員募集に関する運用の改善についてです。自治基本条例については、昨年１年をかけて、委員の皆様の多大なご協力により、「自治基本条例の見直しに関する検討結果報告書」をとりまとめ、11月25日に副会長とともに市長に報告書を提出いたしました。 その中で、パブコメや公募委員等の運用面での改善を提言したところですが、その後の状況について、事務局より説明をお願いします。
志村	(資料「パブリック・コメント及び公募委員募集に関する運用の改善について」の説明)
鹿子嶋会長	ただ今の事務局の説明に関しまして、ご意見等ありましたらお願いします。 特にございませんか。 事務局では、昨年の報告書を受けて、早速改善を図っていくということですが、報告

	<p>書以外のところで、以前に公募委員登録制度についての話がありましたが、今はどのような状況ですか。</p>
志村	<p>公募委員登録制度については、他市の実施状況や制度内容を研究中です。本市の場合は、条例の中で、一般公募することが原則とされていますことから、導入するとなりますと、条例等の例規改正が必要になるのではと考えていまして、その部分を含めて検討中ですので、もう少しお時間をいただきたいと思います。</p>
天野委員	<p>先日、議会中継で自治推進委員会のことが取り上げられていました。</p>
山地課長	<p>今3月議会で、公募委員年齢引き下げに関する条例改正議案をご審議いただきましたので、その中で関連して発言があったものです。若い方を含め市民が参加しやすい審議会となるよう、まずは環境から変えていく必要があります、自治推進委員会は夜間開催をしていますが、開催時間も会議の中で検討していく必要があるという質疑応答がありました。</p>
山田市長公室長	<p>自治推進委員会は夜の開催や学生の方にも参加いただいていることに、議員から好ましい事例として、若い方の意見を取り入れることができるようにしてほしいという要望をいただきました。審議会の開催時間も、委員が参加しやすい時間をお聞きするなど、開催時間を検討していく必要があります。</p>
鹿子嶋会長	<p>他にご意見はありませんか。ご意見等もないようでしたら、ここまでとさせていただきます。</p> <p>本日、予定しておりました議題は以上でございますが、その他何かありますか。</p> <p>特にないようでしたら、以上をもちまして本日の審議会を終了します。お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>